



## 「政策・制度要求と提言」を申入れ

連合岩手花巻北上地域協議会（高橋信秋 議長）は10月2日（水）2市1町（北上市、西和賀町、花巻市）へ「政策・制度要求と提言」の要望書を提出致しました。

この政策・制度要求は、連合岩手の方針及び当地協加盟組合から出された要望を、推薦議員と意見交換しながらまとめた物で「労働者に関する施策」、「社会福祉・保健医療」、「教育の拡充」、「安心・安全のまちづくり」、「公共交通」の5つに分類し、20項目～27項目を要求。

市民・町民生活の安定と質の向上、活力ある市政・町政の実現に向け、2025年度予算及び政策に反映していただくよう、申入れ致しました。

北上市への申入れには、星あつこ 市議、平野明紀 市議、原利光 市議にも出席いただき、要請書を手交しました。

及川副市長からは、「“産業の北上市”として、労働者皆さまの要望は北上市としても重要な要望と認識している。商業施設誘致については、市としても動いているが、商圈人口から難しい判断をされている。引き続き誘致に動いているので、ご理解いただきたい。

福利厚生について大手は問題ないと思うが、中小企業については難しいかと思う。勤労者福祉サービスセンターへ北上市と西和賀町で補助金を出して福利厚生事業を行っているが、従業員数が伸びていない中で、これを維持していくのも難しくなっている。」等、話されました。

西和賀町への申入れは、内記町長へ手交し、連合岩手として県内各自治体へ行っている事や要請内容について意見交換致しました。

花巻市への申入れには、若柳良明 市議、阿部一男 市議、照井省三 市議にも出席いただき、要請書を手交しました。



上田市長からは、「小学校体育館の冷暖房設備については、国の制度も活用できるのであれば少しずつやっていくことも考えられる。また、市としては災害時に温泉と協定しているので、この中身を見直しながら進めている。いざというときは、まずは最寄りの避難所へ避難をお願いしたい」などの話がありました。

各自治体からは、11月中旬を目処に書面での回答をいただく予定です。

